

特集

開幕直前!

エスコン2年目・新庄監督3年目

ファイターズはかく戦う!

◀新庄監督を真ん中に伊藤大海投手(左)と松本剛選手(右)
=ファイターズ・オフィシャルサイトより=



2年連続の最下位から優勝だ——。本拠地を札幌ドームから北広島市のエスコンフィールド北海道に移して2年目の北海道日本ハムファイターズの「優勝説」は根拠のない夢物語ではない。外国人の大型補強やドラフトで戦力が大幅にアップし、さらに他球団の戦力ダウンを考えると優勝の可能性はある。球団創設50周年の節目のファイターズの戦いぶりを「ファン視線」で展望した。

(ジャーナリスト・黒田 伸)



▶開幕を待つエスコンフィールド(3月5日撮影)と球団50周年の旗



節目の3年目を迎える

3月1日、札幌市内のホテルで開かれた日本ハム主催の激励会「2024シーズン開幕スペシャルパーティー」。

新庄剛志監督やコーチ陣、選手たちが、約200人の来賓の前で8年ぶりのリーグ優勝と日本一を誓った。

日本ハム社長で、球団の井川伸久オーナー(62)はこんな挨拶をしている。

「球団としても節目の年です。新庄監督3年目で勝利に導いてほしい」

新庄監督は「最低でもクライマックスシリーズ出場。選手を信じて、そこからトップ

(優勝)を目指します」と、珍しく控えめに語った。

最後には選手会長の松本剛外野手が「今年こそは必ずファイターズが北の大地を盛り上げる。北海道のファンに良いニュースを届けられるように選手一丸で戦います」と決意を述べると会場から大きな拍手が起こった。

新庄監督は就任1年目で最下位に終わった2022年の札幌ドーム最終戦でユニフォームを脱ぐパフォーマンズを見せて「来年は優勝しかない」と宣言。2023シーズン開始に当たってもエスコンフィールドを「世界

一の球場」(新庄監督)と表現し、「この球場で優勝します」とまで言い放った。

チームは7月に入るまで、一時Aクラスを窺える位置につけ、「ひよっとしたら」とファンの心を掴みかけたものの、魔の13連敗であつという間に最下位へ。

期待を裏切り続ける元「ビッグボス」のピッグマウスぶりに道内から厳しい声も上がっていた。

道北のある中小企業

の会長の言葉。「監督という立場で責

近年見られる大型補強

こうした声は道内のマスコミやテレビではあまり紹介されない。その裏事情を道内民放テレビのベテランディレクターが解説する。

「今や、長い物には巻かれる」の時代。日ハムに盾突く番組なんて作れません。最下位でも道内のファンが喜んでくれるようにするしかありません」

任があるのだから2年続けて最下位になったら退くのが当たり前。ファンも馬鹿ではないので3年目の今年が同じ結果なら、急速に日ハム離れ、新庄離れが進む」と

と批判的な見方をする。

コロナ禍が静まった昨シーズンもベンチに入ると黒マスクを外さなかった新庄監督に札幌市内の70歳代の男性ファンは、

「どうして外さないのかね。負けが続くから顔を見られたくないのかも。マスコミも新庄批判をしないのはなぜなんだろうね」と嘆く。



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

TEL 011-644-0101

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)